

## 協会に事務局を置く団体

神奈川県消化器がん検診機関一次検診連絡協議会	
設立年月日	昭和57（1982）年2月
代 表	副会長：玉井拙夫 （公益財団法人神奈川県予防医学協会）
会 員 数	会員機関10＋相談機関2（2025年7月現在）
設立の主旨	
県内における老人保健法（昭和57年度～平成19年度）および健康増進法（平成20年度～）に基づく消化器がんの住民検診を行う一次検診実施機関の精度管理の向上、行政、学会、医師会をはじめとする関係機関との連携協力を図り、共通の諸問題の研究、技術の向上を目指して討議を行い、消化器がん検診の充実、発展を図る	
本年度の主な活動	
1. 協議会の開催 第92回協議会 令和6年8月26日 2. 幹事会の開催 第110回幹事会 令和6年7月30日 3. 研修会等 Web研修会（評価基準に基づく基礎的撮影手技） 令和6年4月15日 第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 一般演題報告 令和6年9月15日 4. 技術部会 第1回 令和6年5月20日 第2回 令和6年8月21日 第3回 令和6年11月20日 第4回 令和7年2月28日	
事務局担当	佐藤光宣（業務部）

神奈川県健康管理機関協議会	
設立年月日	昭和56（1981）年
代 表	代表幹事：（公財）神奈川県予防医学協会
会 員 数	13機関（2025年3月31日現在）
設立の主旨	
県内において企業等の健康管理支援業務を行う企業外健康管理機関が、より質の高いサービスを提供するため、健康管理全般に関する支援として、精度の向上、適正な事業の運営等、共通の諸問題を協議検討すると共に労働衛生行政へも積極的に協力していくことを目的として設立	
本年度の主な活動	
◆第1回協議会（令和6年9月26日） 1. 神奈川県労働局からの連絡事項 2. 講 演 テーマ：『労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会の動向について』 講 師：公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 専務理事 亀澤典子氏 3. 情報交換会－各機関の近況と問題点－ ①事務職員、健診スタッフの確保について システム担当、検診車のドライバー 他 ②カスタマーハラスメントへの対応について ◆第2回協議会（令和7年3月28日） 1. 神奈川県労働局からの連絡事項 2. 講 演 テーマ：『協会けんぽにおける「令和6年度の取組み状況及び令和7年度の取組予定」／「保健事業の一層の推進（健診体系の見直し）」について』 講 師：全国健康保険協会 神奈川県支部 企画総務部 保健グループ グループ長補佐 吉永志野氏 3. 情報交換会－各機関の近況と問題点－ ①協会けんぽ事業への要望事項と事業拡大に向けた取組みについて	
事務局担当	雨宮 徹（業務部）

（公社）日本作業環境測定協会神奈川支部	
設立年月日	昭和56（1981）年7月
代 表	支部長：太田 聡 （公益財団法人神奈川県予防医学協会）
会 員 数	31機関（2025年3月現在）
設立の主旨	
作業環境測定士の資質向上と測定技術の精度向上、測定機関の業務改善などを目的として設立	
本年度の主な活動	
◆会議 ①総会1回 ②理事会2回 ③技術専門委員会4回 ④機関会員全体集会1回 ◆通常総会（令和6年6月10日） ①令和5年度事業報告 ②令和5年度収支決算報告 ③令和6年度事業計画 ④令和6年度収支予算 ⑤令和6・7年度役員改正 ◆作業環境測定評価推進大会（令和6年9月9日） ①最近の労働衛生行政の動向 （神奈川県労働局健康課長 畑野俊氏） ②呼吸用保護具と保護手袋の性能と最適な選定方法 （重松製作所 安藤真理氏） ◆第1回技術研修会（令和6年6月10日） 健康診断の今昔 （全衛連会長・北里大学名誉教授 相澤好治氏） ◆第2回技術研修会（令和7年2月17日） ①最近の化学物質管理に関する法改正について （神奈川県労働局労働衛生専門官 林太郎氏） ②作業環境管理専門家として第三管理区分での意見書を作成する上での留意点 （中央労働災害防止協会 山室堅治氏）	
事務局担当	芦田敏文（環境科学部）

神奈川県学校・腎疾患管理研究会	
設立年月日	昭和50（1975）年
代 表	会長：新村文男先生 （東海大学医学部付属八王子病院 小児科臨床教授）
会 員 数	約90人（2024年4月現在）
設立の主旨	
各地区医師会・自治体・大学医学部・病院・学校・検診機関が相互に連携し腎疾患対策を行い児童・生徒の健康に寄与すべく事業を展開	
本年度の主な活動	
◆学校現場との連携事業 ◆神奈川県学校検尿判定委員会合同会議 ◆医師部会 ◆定例研究会 ◆機関誌	
現在活動休止中。	
事務局担当	佐藤光宣（業務部）

子宮がん車検診実施検討会	
設立年月日	昭和46（1971）年
代 表	世話人：上坊敏子先生 （相模野病院婦人科腫瘍センター顧問）
会 員 数	構成医療機関等 ○協力医療機関 北里大学・東海大学・横浜市立大学・聖マリアンナ医科大学・日本医科大学の産婦人科 ○神奈川県立がんセンターの婦人科腫瘍専門医 ○協会細胞診専門医
設立の主旨	子宮がん死亡率低下のため県が実施の検診事業に協会が協力。昭和58年老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として検討会を継承し、運営をしている。
本年度の主な活動	◆年1回検討・報告会 2024年12月13日 7階役員室（Web会議） ◆検討・報告内容 車検診の集積データを検証し、発見症例の再検討などを実施して、精度の維持向上に役立っている。
事務局担当	佐藤光宣（業務部）

ピンクリボンかながわ	
設立年月日	平成18（2006）年10月19日
代 表	代表：土井卓子（湘南記念病院 乳がんセンター長）
会 員 数	協力団体40団体（2025年7月現在）
設立の主旨	乳がんの早期発見・早期治療をめざして、乳がん検診の受診率向上と乳がんについての知識の普及・啓発を目的として設立
本年度の主な活動	◆県内での活動 本年度は社会活動の活発化によりイベント開催が一層多くなり、年間を通じ18回のブース活動を行った。 ピンクリボンライトアップは近隣東京の施設も加わり7エリア、ライトアップスポットはさらに増えて71ヶ所にて10/1～10/31に実施した。周知の重要なツールとなるポスター・リーフレットのデザインは今年も専門学校プロジェクトチームに依頼、事前告知イベントを駅頭で行うなど学生達との啓発活動が一層深まった。若い世代にも「ピンクリボン」の意味を知って貰う為のフォトコンテストを今年も継続、昨年より2倍強の404作品もの応募があった。主催イベントとして「ピンクリボンかながわ in 鎌倉女子大学」を11月に開催、「健やかな未来に向けて今、私たちが出来る事 part2」としてディスカッションを行い、さらに「ピンクリボンかながわ2024交流フェスタ」を2025年1月に横浜市開港記念会館にて開催、フォトコンテスト表彰式や「乳がんへの向き合い方」をテーマにしたトークショー、高校吹奏楽部演奏を交えた交流ライブおよび啓発協力団体によるブース展示等約300名の参加者とともに交流を深めるイベントとなった。 ◆協働事業 引き続き、企業・団体との協働事業を継続するとともに専門学校生、大学とのコラボ企画に参加、SNS発信に取り組んだ。特に岩崎学園、湘南モノレール、ピンクリボンかながわの三者協定では、定期的に協議会を行い、情報発信のさらなる具体化に取り組んだ。
事務局担当	齋藤好子（健康創造部）

神奈川県乳がん集団検診協力医療機関連絡会	
設立年月日	昭和60（1985）年
代 表	会長：福田 譲（聖マリ大 B&Iセンター院長）
会 員 数	○乳がん検診（視触診・読影）協力医療機関 視・触診協力機関 12機関 読影協力機関 8機関 横浜市立大学附属病院・聖マリアンナ医科大学病院・藤沢湘南台病院・茅ヶ崎市立病院・平塚共済病院・小田原市立病院・山近記念総合病院・東海大学病院・伊勢原協同病院・平塚市民病院・湘南記念病院・東名厚木病院・神奈川県立足柄上病院・森下記念病院・西鶴間メディカルクリニック・聖マリアンナ医科大学附属研究所B&Iセンター（2024年7月現在）
設立の主旨	乳がん死亡率低下のため県実施の検診事業に協会が協力。老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として神奈川県乳がん集団検診協議会を継承し、運営をしている。MMG運営委員会：上記連絡会の下部組織として、マンモグラフィ読影精度管理を目的として設立。
本年度の主な活動	1. 連絡会・MMG運営委員会 合同開催 3/7（Web会議） 2. 症例検討会 第1回：7/19 7機関9名（Web会議） 第2回：11/8 8機関9名（Web会議） 3. 学会発表 第34回日本乳癌検診学会（11/29-30 群馬県高崎市） 平塚共済病院 谷 和行先生
事務局担当	山本寛典（業務部）

神奈川乳房画像研究会／神奈川乳房超音波画像研究会	
設立年月日	平成10（1998）年12月／平成18（2006）年3月
代 表	前里美和子、青柳孝行
会 員 数	24人（2025年8月現在）
設立の主旨	乳がんの早期発見・治療の為、画像診断や装置の精度向上に役立つ情報提供や普及活動
本年度の主な活動	◆世話人会 8回開催（Web会議） R6年4月25日、5月15日、7月4日、8月20日、9月30日、10月28日、12月5日 R7年1月6日 ◆研究会 2回開催（Web開催） ・第70回・47回研究会 R6年7月25日（木） 「どうするプレストトモシンセシス管理 -基礎知識と実践-」 岐阜医療科学大学 篠原範充先生 ・第71回・48回研究会 R6年1月15日（水） 「症例検討-あつてよかったトモシンセシス-」 横浜栄共済病院 俵矢香苗先生 ◆他活動内容 ・神奈川県医師会主催 MMG撮影技術講習会 R7年2月8日（土）・9日（日） 横浜市開港記念会館
事務局担当	見本喜久子・関春花（放射線技術部）

禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議	
設立年月日	平成11（1999）年11月5日
代 表	会長：加濃正人
会 員 数	個人会員122人、法人会員9法人 (2025年6月現在)
設立の主旨 県内の禁煙・受動喫煙防止の普及啓発活動の目的で設立	
本年度の主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆総会・講演会 6月（於：横浜市開港記念会館）</li> <li>◆常任理事会 1回（Web会議）</li> <li>◆理事会 2回（Web会議）</li> <li>◆会員による講演会、セミナー 33回 対象者3,019人 （オンライン開催にて数の未把握あり）</li> <li>◆かながわ卒煙塾への協力 講師派遣 6回</li> <li>◆県内公立高校、中学校から依頼の喫煙防止教育への協力 講師派遣 4回</li> <li>◆教職員向け禁煙教育への協力 講師派遣 1回</li> <li>◆イベントへの参加 禁煙相談 1回 公衆衛生イベント 1回</li> <li>◆関連会議への協力 かながわ健康プラン21推進会議（神奈川県）、健康横浜 21推進会議（横浜市）への参加、資料提供</li> </ul>	
事務局担当	齋藤好子（健康創造部）

神奈川学校保健研究会	
設立年月日	昭和43（1968）年9月
代 表	会長：鈴木晴美
会 員 数	9人（2025年3月現在）
設立の主旨 県内の養護教諭ら、学校保健関係者が自主的に研修する場として設立	
本年度の主な活動	
<p>設立当初、養護教諭の研修の場がなく、当協会に事務局を設置し、研修会を実施し、有意義な活動を行っていた。しかし、現在は自治体教育委員会等の研修や情報収集の機会が充実しており、当研究会は一定の成果を収めその役割を果たしたとし、令和6年度をもって閉会した。</p>	
事務局担当	久保紀代美（健康創造部）